学校番号	3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	（学）国語演習	単位数	文科　前期３単位 後期３単位 理科　前期２単位 後期２単位	年次	３年次
使用教科書	※学校設定科目のため教科書はありません。						
副教材等	精選 論理国語（数研出版）、文学国語（大修館書店）、大学入試に出た核心漢字 2500＋語彙 1000（尚文出版）、読解を深める 現代文単語 評論・小説　改訂版（桐原書店）、トータルサポート新国語便覧（大修館書店）、高等学校 古典探究（数研出版）、古典速読トレーニング入門・標準（数研出版）、体系古典文法（数研出版）、精選漢文（尚文出版）、入試対策ベストセレクション古文単語 325（尚文出版）、大学入試最新国語頻出問題（文英堂）、改訂版 新共通テスト対策決戦国語完答 40（尚文出版）					

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語を介して思考する“癖”を内在化してしまった人間にとって、言語は思考のツールである。当然のことながら、日本語話者にとっては日本語によって、最も複雑で抽象的な思考に到達できるであろう。そのような高度な思考のツールとしての任に堪える日本語能力を獲得するために、語彙力、読解力、表現力を十分に身につけることが重要である。また、言語にはツールとしての側面以外に、情感に訴え心身の状態を整える役割がある。鋭敏な身体感覚を持った古の人々によって書かれ伝えられてきた古典文学は、貴重な文化遺産であると同時に、それらを音読することによってたちどころに心身が整うという効果をも備えている。それら古典作品を味わい、情緒を育むことも忘れてはならない。さらに古典、現代文を問わず、この国を代表する知性によって編まれた文章を読解することで、数多くの深い考えに触れ、新たな視座や多角的な物事の捉え方、柔軟な考え方を涵養することが本科目の目標であることを理解し、物事の本質に肉迫すべし、との気概を持って学習に臨んでほしい。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，創造的に考える力を養い、他者や古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

（４）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（５）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 また生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

期間	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	総合的な力をつける ［教材］ 【現代文】 「弱いつながり」 「陰翳礼讃」 漢字・現代文単語等の副教材 【古文】 平家物語「忠度の都落ち」 無名抄「俊成自讃歌のこと」 蜻蛉日記「うつろひたる菊」* 速読トレーニング等の副教材 【漢文】 世説新語「三横」 聊齋志異「酒虫」* 速読トレーニング等の副教材	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　書　]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現にも注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c：目的・意図・場面に応じ、言語活動を意欲的に行い、言語感覚を磨こうとしている。 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査	グループワーク等の行動の観察・成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察
前期期末考査まで	総合的な力をつける ［教材］ 【現代文】 「生命の知性」 「環境と心の問題」 漢字・現代文単語等の副教材 【古文】 源氏物語「車争ひ」* 大鏡「最後の除目」 去来抄「行く春を」*「岩鼻や」* 速読トレーニング等の副教材 【漢文】 史記「廉頗・藺相如」 速読トレーニング等の副教材	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[　書　]：文章の構成や展開，表現の仕方などについて，伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 c：考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。	定期考査	グループワーク等の行動の観察・成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察

後期中間考査まで	総合的な力をつける ［教材］ 【現代文】 「無常ということ」 「赤い繭」 漢字・現代文単語等の副教材 【古文】 源氏物語「紫の上の苦悩」 玉勝間「師の説になづまざること」* 速読トレーニング等の副教材 【漢文】 史記「荊軻」 速読トレーニング等の副教材	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b［ 書 ］：個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 b［ 読 ］：文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察している。作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：目的・意図・場面に応じ、言語活動を意欲的に行い、言語感覚を磨こうとしている。 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査	グループワーク等の行動の観察・成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察
後期期末考査まで	総合的な力をつける ［教材］ 【現代文】 漢字・現代文単語等の副教材 【古文・漢文】 速読トレーニング等の副教材	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読 ］：人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査	グループワーク等の行動の観察・成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察

＊は文科のみ。理科では扱わない。

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　文科７０　理科３５　）時間

・読むこと　…　（　文科１４０　理科１０５　）時間